

I T活用に関する企業研究報告

(一財)国際IT財団(代表理事・澤田潤一)では、国内企業(615社)を対象に、IT活用の実態と効果についてのアンケート調査を行った。

調査結果からは、「攻めのIT投資」の実現には、①戦略的なIT投資を促すためのガバナンス改革、②IT投資を新たな付加価値創造に結びつけるCIO人材の確保・育成、③自社を超えたネットワーク化や人材投資を通じ、全体最適に向けた「組織のIT活用力」向上、が必要とされている一方、IT人材に対する不足感が強いことがわかった。

【調査結果の主なポイント】

1. 過半数の企業で強いIT人材不足感。IT投資のガバナンスにも課題

企業のIT導入の段階を問わず、IT専門人材およびIT部門とコミュニケーションができる人材の不足感が全体的に高い。次いで、「投資効果が得られない」「戦略立案ができない」との意見が多く、IT投資による業績向上への貢献が見えにくいいため、攻めのIT投資が後手に回り、経営者がIT投資の戦略的な意思決定を行うことが難しいことがうかがわれる。

⇒報告書・総括1、3

2. ITの戦略的投資の実現には、CIOの設置が鍵となっている

ITが新たな付加価値創造に結びついているという企業では、CIO設置率が高い。ITの戦略的投資を実現するためには、CIOの設置が有効であることが示唆される。同様に、CIO設置企業では、人材投資も積極的な傾向である。

⇒報告書・総括4、6

3. 人材投資やネットワーク化を積極的に行うことで、IT活用により高い効果

取引先・顧客等を含め自社を超えたネットワーク化をしている企業や、CIOを設置している企業でIT投資が積極的に行われている。また、IT活用に併せ、人材投資やネットワーク化を積極的に行うことで、IT活用のより高い効果が得られることがわかった。

⇒報告書・総括2、5

【調査概要】

- (1) 調査手法：郵送及びWebアンケート
- (2) 実施時期：2014年11月13日(木)～
2015年1月15日(木)
- (3) 調査対象：日経リサーチ社所有の企業データベース3,536社
- (4) 有効回答数：615件(回収率17.4%)

【日本のITリテラシー向上研究会 構成】

- 金丸恭文 フューチャーアキクト 代表取締役会長兼社長(委員長)
宮川 努 学習院大学 経済学部 教授(主査)
稲増文夫 KDDI 総研 調査2部長
今村俊一 フューチャーアキクト アドバンストビジズ本部ディレクター
木内康裕 日本生産性本部 生産性総合研究センター主幹研究員
齋藤幹子 ウシオ電機 秘書室
篠崎彰彦 九州大学大学院 経済学研究院 教授
幸重孝典 全日本空輸 上席執行役員

【連絡先】(一財)国際IT財団 事務局(田邊、徳武)

Tel:03-3409-2653 Fax:03-3409-2654 Mail:info-ifit@ifit.or.jp

http://www.ifit.or.jp⇒詳細は左記URLに掲載の報告書をご覧ください。